

1 学年の栽培計画



育てたい能力

学習指導要領の生活科の内容（7）には「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようにする」という記述があります。

ここでは「植物を育てたり」という学習の手段と、「成長していることに気づき」という学習の内容と、「生き物への親しみを持ち、大切にでき

るようにする」という目的が一体のものとして述べられています。つまり、1・2学年においては、何かを学ぶ手段として作物を育てることではなく、栽培そのものが目的になるということです。



栽培する植物をどう選ぶか

1学年では短期間で栽培ができて、病気に強く育てやすいもの、花や実など成長にあたって変化がとらえやすい作物が適しています。アサガオはその典型でしょう。

月	学期	関連する単元	アサガオ	チューリップ	ヒヤシンス	サツマイモ	コマツナ	ホウレンソウ	
3	休	やさいをそだてよう			開花			たねまき	
4				開花		たねまき			
5	一学期				掘り上げ	植えつけ	たねまき	収穫	春まき
6							収穫		
7	休	きゅうこんをそだてよう			植えつけ			たねまき	
8									
9	二学期							収穫	
10									
11									
12	休								
1	三学期			発芽				秋まき	
2									

花、実、コットンボールと変化していくワタもおもしろい作物です（おすすめ作物の項参照）。

1年から2年にかけて、秋から初夏までを使い、タマネギを栽培することも考えられます。丈夫な植物で用途も広い生活必需品です。栽培期間が中途半端で他の植物との兼ね合いがうまくいかないのが難点ですが、タマネギの間にカボチャやキュウリを植える工夫をしている農家もいます。

（協力 / 毛利澄夫）